

## 4月上旬

### 自分でできる果菜類の苗づくり

トマトやナスなどの苗づくりは、70～80日ぐらいの日数がかかり、また、寒いときからの育苗となるので難しいので、購入した方が得策です。

しかし、育苗日数の短い、キュウリ、カボチャ、シロウリ、トウガンなら比較的育てやすいので、自分で作りましょう。

種まきは桜の花が散った頃が目安です。育苗は、3号のポリポットに市販の育苗用土を詰め、種子を3～4粒まき、1cmほど覆土します。

発芽にはいずれも25℃以上の温度が必要ですので、日当たりのよい場所にビニールフィルムをトンネル状に覆った簡易な苗床をつくり、その中にポットを並べます。

夜間は密閉し、昼間は30℃以上にならないように裾を開けて換気します。

大きくなるにつれて間引きをして1本立てとし、本葉が4～5枚になったら畑に植えだします。(葉色が薄い場合は、灌水代わりに液肥を施用します)



## 4月中旬

### トマト、ナスなどは大苗に育てて畑へ

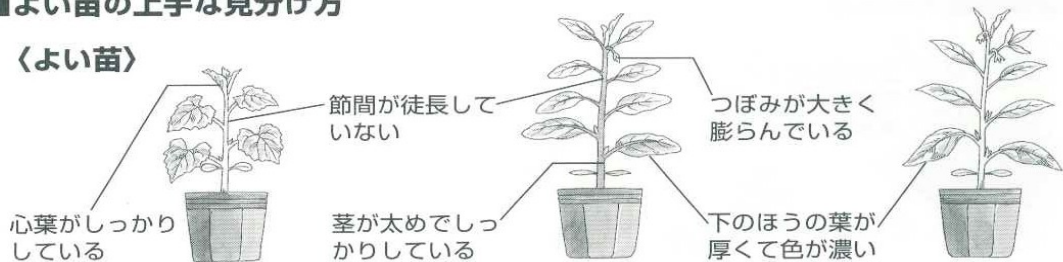
園芸店の店先には季節に先駆けて、早くから各種の苗が販売されますが、これを急いで購入しすぐに畑に植えてしまうと失敗します。それは、まだ苗として未完成な子苗を、温度不足の畑に植えているからです。

果菜類を上手に育てるには、十分大きくなった苗を、温度、特に地温が上がっていることが大切です。

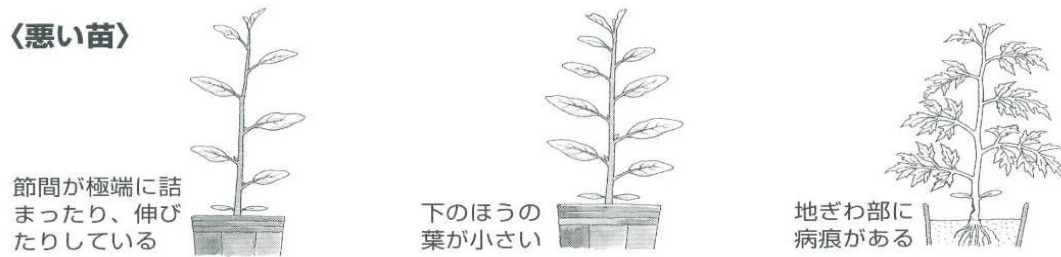
店先で売られている苗は、ほとんどが3号鉢に植えられた小さい苗です。この大きさでは大玉トマトやナス、ピーマンの成苗にはできません。そのために、一回り大きい4号、又は4.5号鉢に植え替えます。葉色が薄くなるようなら液肥を灌水代わりに与え、日当たりのよいところで、花が咲き始める大きさまで育ててから畑に植えるようにします。

#### ■よい苗の上手な見分け方

##### 〈よい苗〉



##### 〈悪い苗〉



#### ■苗の仕上げ



## 4月下旬

### ショウガづくりに挑戦しましょう。

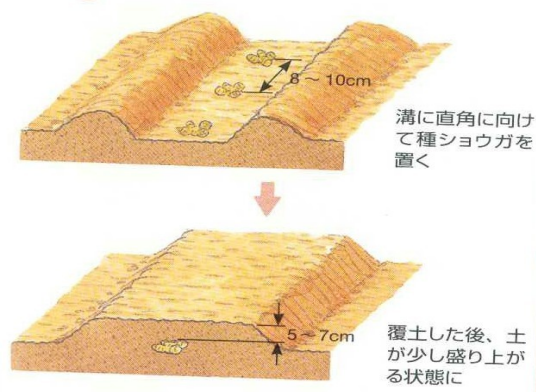
殺菌作用と薬効、消臭など多くの効果がある、栽培の歴史の古い作物です。

家庭菜園用には小ショウガを用い、矢ショウガ、葉ショウガ（矢の根ショウガ）、古根、根ショウガなど、長い期間にわたって収穫・利用できます。

成功のポイントは、よい種ショウガを入手することです。4月中旬ころから種ショウガが種苗店で出回りますので、病害痕や腐れ込みのない健全なものを購入します。

植え付け時期は、4月末～5月上旬です。高温性で12℃以上にならないと芽が伸びださない（生育適温は25～30℃）ので、早く植えても無駄です。

乾燥に弱いので、乾いたら十分灌水します。



好みに応じて、いろいろな収穫の仕方が楽しめる

